

	設立 事務所(法人事務局)の住所 [登記上の住所]	昭和47年4月27日 徳島市南矢三町2丁目1-59 Tel. 088-631-1200 (徳島市西新浜町2丁目3番78号) (障害者支援施設「希望の郷」内)
P 3	ふらっとKOKUFU (地域生活支援拠点)	徳島市国府町中369番地の1 Tel. 088-678-2939
P 3	ワーク&デイ ラクリエ (生活介護、就労移行支援、 就労継続支援B型)	Tel. 088-678-2939 利用定員：生活介護 30名 就労移行支援 6名 就労継続支援B型 24名
P 7	相談支援事業所 きぼう	Tel. 088-678-2593
P 5	ふらっとホーム (共同生活援助、短期入所)	Tel. 088-678-2669 利用定員 12名 (男性6名、女性6名) 短期入所利用定員 3名
P 5	希望ホーム(共同生活援助事業)	徳島市南末広町2番37号 利用定員 13名
P 6	児童デイフラット 未来 (児童発達支援・放課後等デイサービス)	徳島市国府町中369番地の1 Tel. 088-678-2125 利用定員 15名
P 9	希望の郷(障害者支援施設)	徳島市西新浜町2丁目3番78号 Tel. 088-663-5550 入所定員 115名 生活介護 115名 短期入所定員 5名 自立訓練(生活訓練) 6名
P 11	未来(障害児入所施設)	徳島市国府町中369番地の1 Tel. 088-642-4040 入所定員 60名 短期入所定員4名及び本体施設の空床
P 13	徳島県立障がい者交流プラザ	徳島市南矢三町2丁目1-59
P17	障がい者交流センター(指定管理)	Tel. 088-631-1200 利用定員 227名
P 15	視聴覚障がい者支援センター (指定管理)	Tel. 088-631-1400
P 13	徳島県障がい者スポーツ協会事務局 (事業委託)	Tel. 088-634-2000
P14	ノーマライゼーション促進センター (事業委託)	Tel. 088-634-2000
P14	徳島県障がい者芸術・文化活動 支援センター(事業委託)	Tel. 088-631-1200
P 18	徳島県立総合福祉センター	徳島市中昭和町1丁目2番地
P18	徳島県立総合福祉センター (指定管理)	Tel. 088-654-0294 利用定員 872名
P16	徳島県地域生活定着支援センター (事業委託)	Tel. 088-611-0220

当事業団のシンボルマーク



福祉の「ふ」の文字を図形化しました。丸は「徳島県社会福祉事業団」を意味し、ここを中心に様々な波紋が広がっていくイメージで、発展や推進を意味します。

カラーは、左から順番に「阿波藍」、「吉野川」、「徳島の空」を3色の青で表現しています。また、このマークを左に90度回転することにより、徳島県の形状としても見るができます。



Challenge
Communication
Teamwork

基本理念

つながれば 広がる
よりよい 支え合う
だれもが活躍できる
社会の実現へ

Interaction

インタラクション | 交流、つながれば広がる



さらなる挑戦と 飛躍のステージへ

昭和 47 年の法人設立以来、福祉ニーズの変化に応じて歩みを刻み、令和 4 年に法人設立 50 周年を迎えました。
積み上げてきた信頼を財産として継承するとともに、さらなる飛躍を目指し、地域共生社会の実現に向けて牽引役を果たしていきます。利用者の視点を基本において、職員一丸となって、利用者、保護者、地域の皆さんを支え、信頼される法人を目指します。チャレンジ、コミュニケーション、チームワークが日々の運営目標です。

地域共生社会の拠点

徳島市国府町に新設した「ふらっと KOKUFU」は、住まい、就労、日中活動、相談支援、児童発達など多機能が集積する地域生活支援拠点で、令和 3 年 9 月から事業を開始しています。そこに設置されている「ふらっと Café」では、年齢や障がいの有無に関係なく、「地域の交流拠点」となるよう「徳島県版ユニバーサルカフェ」などの事業に取り組むとともに、地域の自主防災組織と連携し、災害時には地域の防災拠点として安全な福祉避難所となります。その他の事業所においても積極的に地域貢献活動に取り組みます。

障がい福祉を基本とした 多彩な事業

当法人は、障がい者、子どもから大人までの切れ目のないサービスを中心に幅広い業務を行っています。
障害者支援施設「希望の郷」、障害児入所施設「未来」、地域生活支援拠点「ふらっと KOKUFU」を経営するほか、徳島県立障がい者交流プラザなど県立施設の指定管理業務を行ない、視覚や聴覚に障がいがある人の支援専門機関を運営しています。
さらに、徳島県障がい者スポーツ協会と徳島県障がい者芸術文化活動支援センターの事務局を運営し、多彩な事業を積極的に展開しています。

専門職と多様な職種が 活躍できる職場

介護福祉士、介護支援専門員、社会福祉士、保育士、管理栄養士、看護師、精神保健福祉士、心理士、手話通訳士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など、多くの職員が福祉専門職等の資格を持っています。
嘱託医師との連携を含めて、一人ひとりを大切にするチームアプローチを行います。また、子育て中の職員、高齢者や障がい者が働きやすく、働き続けることができる多様な職種、多様な勤務形態で笑顔があふれる職場づくりを進めています。

ワーク & デイ

ラクリエ

[運営方針]

障がいのある方々が、地域社会の一員として輝けるように、利用者の「ありのまま」を受け入れ、「生活人」としての「自己選択」と「自己決定」を尊重し、ライフステージやニーズに応じて、自立した地域生活を営むことができるように包括的な支援提供を行う。

[利用定員]

生活介護事業	30名
就労移行支援事業	6名
就労継続支援B型事業	24名



Challenge

チャレンジ | 挑戦、楽しむことを忘れない

生活介護



支援員
山本晏瞳
Yamamoto Ami

2021年9月から始まりましたふらっと KOKUFU ワーク & デイ ラクリエにて、新しい環境の中で利用者様のためにより良い支援ができるよう試行錯誤、右往左往した出発からはや1年が経とうとしています。当時新社会人6か月目に突入した私が先輩職員の皆さんと同じスタートラインに立つということは、きっと人生の中でも滅多に経験できないことだったと思います。利用者様一人ひとりの障がい特性はまさ

しく十人十色で、コミュニケーションの方法を模索し気持ちを伝え合うこと、信頼関係を築くことの難しさに躓くことは数え切れません。その分、わずかも利用者様が考えていることが分かってくると気持ちを汲み取れた時はとても嬉しく、やりがいを感じます。私一人では微力ではありますが、「今日楽しかった」と思える日が1日でも増やせられるように支援していきたいと思っています。



就労移行支援 就労継続支援B型



サービス管理責任者
高橋 和孝
Takahashi Kazuyuki

ふらっと KOKUFU 内にあるワーク & デイ ラクリエで一般就労にむけた訓練、生産活動及び関係機関との調整等を行う業務をしています。サービス管理責任者という仕事柄、直接的な支援を行うことは少ないですが、訓練や生産活動にお手伝いとして一緒に参加することもあり、利用者様の作業へのスキルアップを感じることができるのでやりがいになっています。また、多くの取り組みの中でも障がいのある方の就労

機会や社会参加、地域農業の振興及び地域の活性化へとつながる「農福連携」に力をいれています。農家さんよりの受託作業、自社栽培や獲れた作物を「ふらっとラボ」で加工し、地元量販店で販売、支援学校との協働農業を行い地域とのつながりを強める活動を行っています。今後も職員一丸となり、利用者工賃アップにむけてがんばっていきます。



ふらっとホーム 希望ホーム

[運営方針]

利用者一人ひとりの身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、生きがいをもって日々の生活を送ることができるよう家庭的な雰囲気のもと、温かい食事の提供、健康管理、入浴、排せつの介助などの生活支援、相談その他の日常生活上の援助を適切に行います。

[利用定員]

共同生活援助事業	ふらっとホーム	12名〔男性6名 女性6名〕
短期入所事業	ふらっとホーム	3名〔地域生活支援拠点としての緊急時の受入れを含む〕
共同生活援助事業	希望ホーム	13名



Honest

オネスト | 誠実に、実直に



ふらっとホーム
世話人
大峯 久子
Omine hisako

「ふらっとホーム」「希望ホーム」では、障がいのある方が安心して生活できるように職員が日々の生活のお手伝いをしています。わたしは希望の郷で定年まで働き、定年後の新しい働き方として世話人をしています。グループホームでの仕事は、利用者様それぞれの生活に家族のように関わる仕事です。そのような仕事の中で生活面での工夫を行い、利用者様の生活を快適にする

ことがやりがいです。また、ともに生活する中で利用者様の新しい一面を見られることも大きな喜びであり、働きがいだと感じます。これから力が続く限り、でかけるときは玄関で「いってらっしゃい」と送り出し、帰ってきた時は笑顔で「おかえり!」と迎え、家庭のように安らげる場所を守りたいと思っています。

児童デイ

フラット未来

[運営方針]

一人ひとりの子どもの状況に応じた発達支援を行うことにより、最善の利益の保障と健全な育成を図ります。また、地域社会への参加や包容を進めるための支援を行うとともに、子育ての悩みや家庭内での養育相談等の保護者支援を行います。

[利用定員]

児童発達支援・放課後等デイサービス	15名
-------------------	-----

Smile

スマイル | 笑顔からはじめよう



保育士
宮井 ふさ
Miyai Fusa

「児童デイフラット未来」は令和3年4月に放課後等デイサービス事業に加え未就学児を対象とした児童発達支援事業をスタートさせ、同9月からふらっとKOKUFU 発達支援棟に場所を移し、未就学から学齢期にかけて、子ども達に継続的かつ効果的な療育を通して放課後等安心して過ごせる居場所づくりに努めています。ご縁を頂いて3年、1日として同じ日は無く失敗と反省多

めの日々ですが、子ども達が成長していく過程を間近で見ることが出来、責任の重さも感じる中、様々な発見や感動、また純粋な笑顔や何気ない言葉に励まされ、自分自身も成長していけるとも働きがいのある仕事だと感じています。まだまだ未熟で、上司や諸先輩方に教えを請いながらではありますが、子ども達とご家族の皆様に関わり添って心身ともに安心して頂ける居場所となれるよう今後も自己研鑽に励みたいと思います。

相談支援事業所 きぼう

〔運営方針〕

障がい者と障がい児等の意思及び人格を尊重し、一人ひとりの能力と適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、抱える課題の解決や適切な福祉サービス等が、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮し、相談支援を行います。

〔相談種別〕

- 一般相談支援事業
- 特定相談支援事業
- 障害児相談支援事業
- 徳島市障害者相談支援事業
- 徳島市地域生活支援拠点事業
- 徳島市障害者虐待防止センター等業務

Active

アクティブ | 一歩踏み出そう



相談支援専門員
久次米 麻祐子
Kujime Mayuko

産休、育休を経て時短勤務で復帰しています。子供たちがまだ幼く、子育てと仕事の両立はなかなかハードな時もありますが、上司や同僚たちが同じ子育て世代ということもあり、困った時にすぐ相談ができ、助けてもらえるとても恵まれた環境で仕事が出来ています。相談支援専門員として、利用者様やご家族と向き合うことで、自分自身も成長ができ、日々やりがいを感じ

ています。うまくいかないことも多いですが、所内では事例検討会をはじめ、いつでもカンファレンスできる体制が整っており、チームとして支援しています。個々での業務が多いのですが、チームとして仕事することは、私にとって安心や自信に繋がっています。今後も自己研鑽していき、専門性を高めることで、利用者さんが地域で安心して暮らせるようサポートしていきたいです。

専門職・多職種連携

当法人は、介護福祉士、社会福祉士、保育士など社会福祉専門職、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のリハビリ専門職、看護師、管理栄養士など多様な職種の連携によりチームアプローチを実施しています。



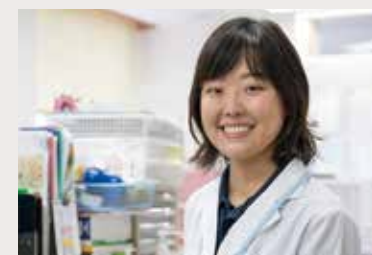
〔希望の郷・
県障がい者スポーツ協会〕
理学療法士
遠藤 恭弘
Endo Yasuhiro

リハビリテーションの専門職として、利用者のみなさまには、健康と生活の質（QOL）の維持向上、社会参加の促進を目的として、「希望の郷」「徳島県障がい者スポーツ協会」「ふらっと KOKUFU」など事業団内の拠点施設を跨ぎ、技能と笑顔を振りまいています。利用者のみなさまには、レクリエーションや ICT を活用したリハビリを通じ、知らず知らずのうちに楽しみながら心身のサポートを提供しています。また、事業団の仲間と一緒に多職種連携を図り、施設全体から個別的なアプローチを実施し、利用者の皆様には笑顔溢れる日々を過ごして頂いています。



〔児童デイフラット未来〕
言語聴覚士
須賀 章公
Suga Akihiro

2022 年 4 月より当法人の一員となりました。現在の所属先である児童デイでは、子ども達のことばの発達、発音、コミュニケーション方法などについて、評価・訓練・アドバイスを実施しています。スタッフ・家族とも情報交換を行い、子ども達の生活の質が上がるように、日々成長を見守っています。私自身が福祉分野で働くのは初めてですが、医療・介護で経験してきたことを活かして、子どもから大人まで切れ目のないサービスを提供できるように、そして言語聴覚士として、言語・高次脳機能・嚥下・聴覚・言語発達等の各専門分野に関しても、自己研鑽を積んでいき、地域に必要とされる人材になりたいと思います。



〔希望の郷〕
管理栄養士
西川 千恵子
Nishikawa Chieko

食べることは心と身体の栄養ですが、好きなもの、苦手なものは十人十色で、食事の内容や提供方法については試行錯誤の毎日です。利用者の方々に、いつまでも「美味しく」、「楽しく」、そして「安全」に食事を召し上がっていただけるよう、これからも支援員や他の専門職の職員と連携を図りながら業務に励んでいきたいと思っています。“食”を通じて、どの年齢層の利用者さんにも楽しみや幸せを感じてもらえることが、私のやりがいであり喜びです。



〔児童デイフラット未来〕
作業療法士
森本 奈都紀
Morimoto Natsuki

児童デイでの勤務では、子ども達の送迎を始め、余暇時間に一緒に遊んだり、日々の活動を計画して取り組んだりしています。作業療法士として、困難となっている日常生活行為や、遊び、運動、学習、社会生活技能などのサポートを行っていますが、何よりも「遊びながら」「楽しみながら」を大切に関わっています。一人ひとりの個性に合わせた支援に加え、ご家族や学校、病院、相談支援等との連携を図り、子ども達の可能性を引き出し、生き生きとした生活をサポートできるように私自身も一緒に成長していきたいと思っています。

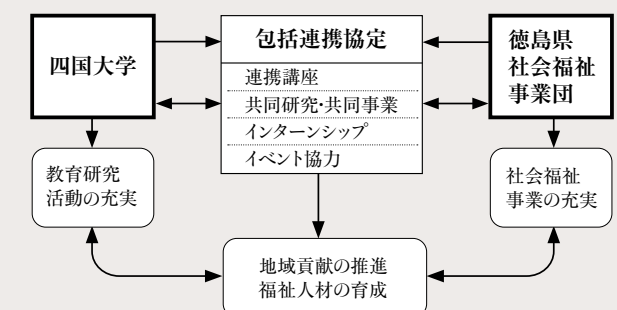


〔希望の郷〕
看護師
坂井 侑由
Sakai Yuu

以前は病院で勤務していましたが、障がい福祉に関わる看護について興味を持ち、希望の郷で看護師として勤務することになりました。最初は戸惑うことも多くありましたが、周りの職員のサポートによって楽しく働くことができています。利用者の方々は年齢や障がいの程度も様々で、高齢化も進み疾病のリスクもあります。多職種と連携をとりながら健康管理を行っており、コミュニケーションを大切にし、小さな体調の変化に気づき、早期に対応できるよう努めています。今後も福祉や看護について専門性を高め、利用者の方々が安心して笑顔で生活を送ることができるようサポートしていきます。

information ①【四国大学との連携】

本法人と四国大学は、令和 4 年 1 月に包括連携協定を締結し、専門職等を講師派遣する連携講座や共同研究などに取り組み、地域貢献の推進と福祉人材の育成に努めています。



障害者支援施設 希望の郷

[運営方針]

利用者の自立と社会参加を促進し、利用者の能力、特性に配慮し利用者主体のサービスを提供します。

地域の社会資源としての施設運営に務め、開かれた施設作りを実施します。

[利用・入所定員]

生活介護事業	115名	自立訓練事業(生活訓練)	6名
施設入所支援事業	115名	短期入所事業(併設型)	5名



支援員

生田 健人

Ikuta Kento

福祉の仕事経験がなかった私ですが、入職して早くも3年が経過しました。最初は戸惑いと驚きの連続だったことを今でも昨日のことに思い出します。そんな中、施設では職員研修制度があり、先輩方に悩みや疑問点をすぐに相談できる環境が整っているため、その都度アドバイスを頂き、自然と馴染むことができました。また、利用者様と関わって日常の喜怒哀楽を共にすることで、小さな変化に気付いたり、気持ちを汲んだ支援が出来たりした時にやりがいを感じます。日々勉強に励み、利用者様一人一人に向き合った支援ができるよう頑張っていきたいです。



主任支援員

田中 友恵

Tanaka Tomoe

専門学校を卒業後すぐに就職をし、10年余り他の職場を経験し、再度入職して9年になりました。利用者様は10年以上の時が経っても変わらぬ笑顔で私を迎え入れてくれました。その笑顔は「家族」のようなあたたかさに溢れており、ここで働くということは大きな「家族」の一員になることだと実感しました。利用者様においても職員においても、長い人生の中でもともに過ごせることの縁を感じながら、一秒でも多く笑顔があふれた時を過ごせるよう自分自身も成長させていきたいと思ひます。



サービス管理責任者

谷崎 佳奈

Tanizaki Kana

サービス管理責任者の仕事内容は、利用者様個々のニーズを把握し、より良い生活を支援することです。希望の郷は、障がいの程度、年齢など様々な利用者様がいらっしゃいます。すべての利用者様が、健康で楽しく、豊かな生活を実現できるようにスポーツ、芸術・アート、レクリエーション、リハビリや生活支援などのサービスを提供していけるように職員一同が取り組んでいます。私も、利用者の皆様とともに明るく元気に過ごしています。



Professional

プロフェッショナル | 高めよう専門性

未来

[運営方針]

子どもたちの一人ひとりが人間としての尊厳を守られながら、心豊かで健やかに成長し、地域社会の一員として自己の能力や特性に応じた暮らしができるよう、利用者サービスを提供します。
18歳以上の利用者に対しては、個々の能力や特性に応じた障害福祉サービスの提供によって地域生活を目指した支援を行います。

[利用・入所定員]

障害児入所施設(経過的生活介護・施設入所支援を含む)	60名
障害児短期入所事業	4名〔及び本体施設の空床〕



保育士
河野 哲也
Kawano Tetsuya

「未来」の保育士は、障がいのある子ども達の人生に寄り添う、大きな責任のある仕事です。入職してからは、試行錯誤の毎日ですが、難しいケースなどは先輩職員と話し合いをし、助言をいただいています。その結果が、入所児童の喜びや笑顔、成長に結びついた時、自分自身も大きな幸せを感じることができます。
今後も、入所児童が、「楽しい」、「安心」と感じられるような環境や活動を提供していき、そのような周辺環境をベースにしながらそれぞれの児童の個性や特性に応じて、一人ひとりの良いところを大切にした支援を行っていければと思います。私自身これから研修や資格取得を通してスキルアップを行い、法人や未来の利用者様の成長に寄り添える職員を目指したいです。



保育士
佐藤 なな子
Sato Nanako

一人ひとりの特性に応じて、生活が少しでも豊かになるよう日々サポートをしています。私自身、経験も少なく、戸惑うこともあります。OJT制度をはじめ研修の充実もあり、少しずつではありますが成長を実感しています。続けてきた支援が成功へと繋がるとやりがいを感じますし、子ども達の笑顔を見ると「やって良かった」と嬉しく思います。「未来」は、子どもと共に成長できるのも魅力だと思っています。
また、法人内には様々な事業所があり、たくさんの方と関わることもできます。異動があることによって自分の様々な可能性にチャレンジすることができますし、自分の将来像を幅広く持つこともできます。今は、子ども達の「未来」のために頑張っていきたいと思っています。



保育士
富士原 美紀
Fujihara Miki

この仕事に就いたきっかけは「障がい」について少し勉強してみたいという気持ちが始まりです。最初は言葉がけ一つにしても戸惑いや、悩みもありました。言葉でのやり取りが困難な児童とのコミュニケーションに困り、時には「何で?」と思うこともありました。周りの職員がどうやってコミュニケーションを図っているのかを見たり、教わったりと試行錯誤をしながらの日々でしたが、表情を感じ取り、ジェスチャーや視覚での支援を行うことで、児童が笑顔で手を握り返してくれたり、意思疎通ができた時の喜びは何とも言えない気持ちになりました。やりがいを感じられる瞬間で

もあり、その気持ちは今でも忘れてはいません。その日から“少し勉強してみたい”という気持ちから“もっと一緒に過ごしたい”“もっと一緒に喜びを感じ合いたい”という気持ちに変わりました。
困った時や悩んだ時は何でも話し合える仲間もいます。一緒に悩み、意見を出し合い、実践してみる、職員がチームとなり、同じ気持ちで支援にあたることで発見もあります。これからも各関係機関や保護者様、学校とも連携を取りながら児童の将来を見据えて支援に取り組んでいきたいと思っています。

Teamwork

チームワーク | ひとりみんなのために、みんなはひとりのために



徳島県障がい者スポーツ協会

[運営方針]

スポーツと文化の祭典である「2020 東京オリンピック・パラリンピック」のあと、これを機に障がい者スポーツの楽しみを未来につなげる先導的役割を図るとともに、各種障がい者スポーツ大会の開催、全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣等を行い、協会事業の積極的な展開を図ります。



指導員
永井 弥生
Nagai Yayoi

徳島県障がい者スポーツ協会は、障がい者スポーツの普及促進・強化、そして創意工夫したスポーツの考案やICT スポーツなど、様々な取り組みをしています。具体的な業務は、各種スポーツ大会の開催や施設・学校への出張スポーツ教室、オンラインを活用したスポーツ教室など多岐にわたっています。また全国障害者スポーツ大会では県選手団の事務局として帯同し、その大会では県内外問わず、全国の仲間と交

流し合える素晴らしい機会となっています。普段よりスポーツを通じて、多くの人とつながり、「出会い」「感動」「達成」をともに共感し、スポーツの魅力を感じています。みなさまに楽しい時間が提供できるよう、スタッフ一同、笑顔溢れるチームワークで、「笑顔の渦」徳島県障がい者スポーツ協会をみなさまに提供しています。

Enjoy

エンジョイ | すべてを楽しく



徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター

[運営方針]

障がい者が、芸術・文化に触れる機会を増やすとともに、阿波藍や阿波踊り、大谷焼など徳島の伝統文化を活かした表現や発表の機会を創出し、障がい者の社会参加を促すことにより、地域において豊かな生活が実現できるよう、取り組みを進めます。また、ノーマライゼーション促進センターにおいて、障がい者の自立と社会参加を促進するため、障がい者の集い県民大会などの啓発活動、福祉バスの運行の管理運営を行います。



Creativity

クリエイティビティ | 表現しよう、発信しよう



相談員
西木 正
Nishiki Tadashi

芸術・文化は、障がいのある方々が「優れた才能」を発揮し、「感動」を創造できる大きな可能性を秘めた舞台です。「徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター」は、平成 30 年 9 月に徳島県立障がい者交流プラザに

開設されました。障がいのある方、そのご家族や支援者、芸術・文化活動に興味のある方々とながら、徳島県における芸術・文化活動の輪が広がっていくことを目指しています。

視聴覚障がい者支援センター

[運営方針]

視覚や聴覚に障がいのある人の支援専門機関として、点訳・音訳指導員、歩行訓練士、手話通訳士等を配置し、視覚・聴覚障がい者が安心して地域生活を営むことができるよう、関係機関と連携・協働し、一人ひとりに寄り添った支援を目指して、視覚障がいリハビリテーション、情報・コミュニケーション支援事業等を実施します。



主任支援員(歩行訓練士)

阪井 紀夫

Sakai Norio

見えないもしくは見えにくくなったことで日常生活に困難を抱えている方の相談に乗り、見えない・見えにくい状態でも「生きがい」をもって生活ができるよう様々な支援を行っています。最初は「見えなくなったことで何もできない」と相談に来られた方が、できることが一つまた一つ増えていくことで、あんなことにもこんなことにもチャレンジしたいと言ってきてくれると私自身も一緒に嬉しくなります。今後も一人でも多くの見えない・見えにくい方が色々なことにチャレンジできる環境作り、そして私自身の専門家としてのスキルアップを目指していききたいと思います。



支援員
(手話通訳士、要約筆記者)

芝高 薫

Shibataka Kaoru

手話通訳者派遣コーディネートを担当しています。聞こえない方や聞こえにくい方と社会のさまざまな人とをつなぐことができ、日々やりがいを感じています。聞こえない方や聞こえにくい方に安心して生活を送っていただくために、社会資源を増やし、地域貢献をしながら、少しでも多くの架け橋となれるようこれからも頑張っていきます。



Together

トウギャザー | 互いに成長しよう

徳島県地域生活定着支援センター

[運営方針]

高齢や障がいにより、福祉的な支援を必要とする矯正施設退所予定者等に対し、矯正施設、保護観察所等と連携・協働して支援や相談を実施し、退所予定者等の状況やニーズ等に応じた支援を行うことによって、再犯防止に繋げ、地域の中で安心して暮らせるよう支援します。



Communication

| コミュニケーション | 対話を忘れない



支援員
吉積路子
Yoshizumi Michiko

「徳島県地域生活定着支援センター」では、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士等の資格を持った職員が、それぞれの得意分野を活かして、一人一人に合わせた丁寧な福祉的支援を行っています。自立した日常生活への復帰を支援していく中で、職員同士が協力し、目標を達成するために行動していくプロセスは非常にやりがいのある仕事だと思います。また、年次や立場も関係なく、自由にアイデアを出し合える環境が整っていますので、個人の個性と挑戦が生かされる職場です。



相談支援員
綴木愛実
Tsuzuregi Aimi

育児短時間勤務制度を利用し、子育てをしながら無理なく働くことができます。「徳島県地域生活定着支援センター」では、司法の機関とも連携して業務を行っており、幅広い知識が必要でやりがいのある職場です。また法人では、資格取得のサポートが受けられるので、レベルの高い資格取得に挑戦して専門性を高めていこうと考えています。

徳島県立障がい者交流プラザの 管理運営

[運営方針]

障がい者をはじめ県民の多様な活動と交流の拠点施設として、交流の場の提供、視聴覚障がい者に対する支援、障がい者の文化芸術の振興、スポーツの振興・普及などを行い、障がい者の自立と社会参加を促進します。管理運営にあたっては、視聴覚障がい者支援センター及び障がい者スポーツセンターと連携して利用者の安全管理を徹底します。また災害時における地域の避難所として、備蓄品などの充実、開設運営訓練を行い避難所の機能を強化します。

[利用定員]

227名 [8会議室等]



総合受付
烏野 賀織
Uno Kaori

受付は、来館された方が初めに訪れる場所です。多くの方と接することができるため、接客には笑顔を心がけています。受付業務のほかに、会議室等の貸館の管理や、イベント情報等のお知らせなど、デスクワークやイベント企画など、やりがいのある仕事です。これからも、利用者の皆様笑顔になれるような接客を心がけ、交流プラザが憩いの場所となるように環境づくりにも取り組んでまいります。



福祉の店「BAI-TEN」
住田美千緒
Sumida Michio



河野 由美子
Kawano Yumiko

交流プラザの正面玄関を入るとすぐに、福祉の店「BAI-TEN」があります。店内には、県内約40の福祉施設等で製作された個性的でオンリーワンの商品を販売しています。商品をお客様にご紹介し、ご購入いただいた時には、とても嬉しく思います。「上手に作るとるなあ、ここに来たらちょっと他にないもんがあるけん楽しいなあ、いやされるわあ」とお客様の声に支えられて、「ほうじゃ、プラザに行ったら寄らないかんわ」と足を運んでいただくと、私たちスタッフが笑顔でお待ちしています。

information ② 【防災への取り組み】

当法人が管理運営する施設及び経営施設は、福祉避難所等の指定を受けています。利用者の命と生活を預かり地域の方々と寄り添い支え合う当法人として、危機事象発生時においても、一定の福祉サービスを提供し続ける責務があると認識しています。そのため、令和3年度に法人全体の事業継続計画

(BCP)を作成し、各事業所において避難訓練等を実施しています。また、各事業所間の連携をより高め、危機事象発生時には、利用者・職員の人命生活を最優先し、地域の安全確保に取り組んでまいります。

[補助避難所]

- 県立障がい者交流プラザ
- 県立総合福祉センター

[福祉避難所]

- 県立障がい者交流プラザ ●希望の郷
- 未来 ●ふらっとKOKUFU

[津波避難ビル・緊急避難場所]

- 県立障がい者交流プラザ
- 県立総合福祉センター

徳島県立総合福祉センターの 管理運営

[運営方針]

地域の福祉活動の拠点施設として、ホール、会議室、ボランティア連絡室等の活動の場を提供するとともに、福祉に関する情報提供を通じて地域福祉の発展に寄与します。管理運営にあたっては、障がい者、高齢者、子ども等の幅広い利用者層の安全確保のほか、利用者のさらなる拡大、入居福祉団体や地域との連携により事業を進めます。また、「徳島県立総合福祉センター」は、津波避難ビルと災害時における避難所の指定を受けており、地元自主防災会との定期的な防災活動によって地域防災力の向上に努めています。

[利用定員]

642名 [14会議室等]



Welfare

| ウェルフェア | よりよく生きる

